

みなみプラス

MINAMI
KABE
SHINBUN

発行
長崎南高校
新聞部
2020年
7月29日

全国高校総合文化祭7月31日からWEB開催

文化部のインターハイ

文化部のインターハイ「全国高等学校総合文化祭」（こうち総文）が7月31日から始まる。今年は高知県内で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のために、WEB開催となり、インターネットが発表の主な舞台となる。本校からは、オーディションを通過した「長崎県選抜吹奏楽団」の吹奏楽部員14人と新聞部が参加する。新聞部のエントリーは4人。長崎県高等学校総合文化祭新聞部門の最優秀賞の受賞と全国高校新聞紙面審査の一次審査の通過による。今年度はWEB開催なので全国どこからでも居ながらにして演劇・郷土芸能・写真・合唱・美術・器楽管弦楽など展示やステージ発表に係わる全ての部門の発表を楽しむことができる。

◆吹奏楽と新聞 ともにテーマは「龍馬」

「長崎県選抜吹奏楽団」は県南部地区の13校、60人で構成された吹奏楽団であり、高知で生まれ、長崎でも活躍した坂本龍馬を題材にした「龍馬伝」のメインテーマと、鎖国時代に隠れキリシタンが歌い継いだ聖歌を題材に作曲した交響詩「ぐるりよざ」を披露する。「長崎県選抜吹奏楽団」は7月25日、長崎ブリックホールでWEB発表用の収録を行った。

新聞部は6月20日に「こうち総文 in NAGASAKI」と銘打って、全国総文新聞部門大会の取材研修と同じような形態で風頭公園や亀山社中記念館などで取材活動をおこない「龍馬さるく新聞」という発表用の新聞を作成した。

◆参加者の抱負・意気込み

吹奏楽部代表（長崎県吹奏楽団学生指揮者）桑村星羅さん

「12月に1回全員で練習して以来、収録当日までほとんど個人で練習した。7月25日の録音当日の午前中に自分のパートの練習や他のパートとの練習を行って、個人練習のやり方が間違っていなかったということがわかってよかった。和気藹々とした雰囲気を取り組むことができたので今回の収録が高校最後の演奏となる人にとってとても良い思い出になったと思う。演奏自体も充実したものになったと思う」

新聞部部长 西宮大翔

「WEB開催となり、高知に行って参加できないのが残念。先輩方から全国高校総合文化祭の様子を聞いていたので、全国の新聞部員との交流を楽しみにしていたが、そ



▲WEB総文用の録音用演奏のリハーサルを行う長崎県選抜吹奏楽団

れができなくなったので、自分たちが今できることを考えた。高知出身の坂本龍馬と長崎の関わりなどについて取材し、新聞にまとめてみて、『こうち総文』に参加したという実感が湧いた」

◆こうち総文エントリー生徒

【吹奏楽部】

山口仁愛（3の2）・池田野音（3の5）・桑村星羅（3の5）・寺下日和（3の5）
松永梨花（3の5）・今田涼加（3の6）・村井杏紗（3の6）
池添ほの花（2の1）・北村梨咲子（2の4）・大和真歩（2の4）
大浦寧生（2の5）・大津輝渡（2の5）・後田みさき（2の6）
山田涼平（2の6）

【新聞部】

伊藤萌々香（2の5）・森 美優（2の6）・香川薫穂（2の6）
西宮 大翔（2の6）

「こうち総文」のWEB SOUBUN 特設サイト

<https://www.websoubun.com/>
日本のトップレベルの高校生の文化活動を見よう